



2008年度分野横断的演習の実施について

2008年10月8日（水）
内閣官房 情報セキュリティセンター
（NISC）

<2006年度>

<2007年度>

<2008年度>

官民連携の仕組みづくり

机上演習

初めての分野横断的演習として、ITを巡る状況の変化やIT障害の特徴等を踏まえ、官民の連絡・連携、情報共有の体制づくり、官民連携の実効性向上等を目的として、具体的な演習テーマの下、演習参加者が会議形式で課題討議を実施

(検証課題)官民連携の仕組みづくり、官民連携の枠組みの実効性の向上のための取組みや課題の発見

(知見、課題)

1. 分野を超えて情報を把握する仕組みの構築の必要性、情報連絡や共有に関して効果的なコラボレーションが図られる環境や仕組みづくりの必要性
2. 多様な脅威や状況を想定した演習、情報共有の意義を実感する演習の実施の必要性

仕組みの妥当性検証

機能演習

官民の連絡・連携体制の機能と、IT障害発生時の対応能力の向上等を図るため、相互依存性解析の知見を踏まえつつ、想定される具体的な脅威シナリオの類型をもとにテーマを設定し、分野横断的な演習を実施

(検証課題) 官民の情報共有、連絡連携の仕組みの妥当性の検証

(知見、課題)

1. 「内閣官房情報セキュリティセンター、所管省庁、CEPTOAR、重要インフラ事業者からなる情報共有の仕組み」の検証において、事業者と内閣官房情報セキュリティセンターを両端とした情報の流れが想定通り機能することが確認された。
2. 情報共有レベルや情報連絡・提供フォーマットといった実際に情報連絡・情報提供を行う際の、運用上の具体的課題が明らかになった。

仕組みの実効性検証

機能演習(フェーズ2)

2007年度までの結果から得られた知見等を踏まえ、想定される具体的な脅威シナリオ等、諸条件を元にテーマを設定し、重要インフラ事業者、CEPTOAR、所管省庁、内閣官房情報セキュリティセンターがプレーヤーとして参加し、テーマに応じた最適な演習手法による、より実践的な演習を実施。

(検証課題)

官民が情報共有、連絡連携する仕組みが、重要インフラ事業者等にとって有益であるか、その実効性を検証する。

- ◆緊急時に、重要インフラ事業者等が状況把握、原因究明、事業継続を行う際の、より有益な仕組み。
- ◆平時の情報共有が、緊急時に重要インフラ事業者等にとって、より有益な仕組み。
- ◆2007年度演習で明らかになった課題への対応と検証

2006年度

1. シナリオ : 災害
2. 形式 : 机上演習(大部屋にて会議形式の演習)
3. 参加者 :
(政府)
内閣官房情報セキュリティセンター, 重要インフラ所管省庁
(重要インフラ分野:10分野)
情報通信, 金融, 航空, 鉄道, 電力, ガス, 政府・行政サービス, 医療, 水道, 物流
(分野横断的演習検討会有識者)
約90名



2007年度

1. シナリオ : サイバー攻撃(DDoS攻撃)
2. 型式 : 機能演習(各個室にてメールによる演習)
3. 参加者 :
(政府)
内閣官房情報セキュリティセンター, 重要インフラ所管省庁
(重要インフラ分野 : 10分野)
情報通信, 金融, 航空, 鉄道, 電力, ガス, 政府・行政サービス, 医療, 水道, 物流
(セプターCEPTOAR : 7分野11セプターCEPTOAR)
通信, 放送, 銀行, 生保, 損保, 証券, 航空, 鉄道, 電力, ガス, 政府・行政サービス
(関係機関)
(分野横断的演習検討会有識者)
約120名



1. 2008年度演習の目的

IT障害発生時における重要インフラのサービスの維持・早期復旧, 事業継続等に向けた課題抽出

2. 検証対象

重要インフラ事業者等, ^{セブター}CEPTOAR, 関係機関, 所管省庁及び内閣官房情報セキュリティセンターから成る情報共有の仕組み全体を対象

3. 検証課題

- (1) 緊急時の官民の情報共有, 連絡・連携の仕組みの実効性確保
- (2) 平時における官民・事業者間の連絡・連携状況の擬似的検証
- (3) 緊急時の各主体におけるIT障害への対応力の強化
- (4) 相互依存性解析結果の検証
- (5) 実施細目^(注)の見直しに向けた課題の抽出

4. 実施方法

注)「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」の情報連絡・情報連携に関する実施細目

各分野あるいは事業者毎に小部屋に分散し, メールを通じて付与された状況に応じた対応を行う。

1. 日時 : 2008年12月1日(月)
2. 場所 : (株)三菱総合研究所
3. 参加者 :

(政府)

内閣官房情報セキュリティセンター, 重要インフラ所管省庁

(重要インフラ分野: 10分野)

情報通信, 金融, 航空, 鉄道, 電力, ガス, 政府・行政サービス, 医療, 水道, 物流

(^{セクター}CEPTOAR: 10分野^{セクター}14CEPTOAR)

通信, 放送, 銀行, 生保, 損保, 証券, 航空, 鉄道, 電力, ガス, 政府・行政サービス, 医療, 水道, 物流

(関係機関)

(有識者)

大林厚臣 慶應義塾大学教授(検討会座長)他, 有識者

	2008年			2009年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	演習具体化	演習実施	演習評価, 報告とりまとめ, 総括			
検討会		第3回(11月7日) ▼		第4回 ▼		第5回 ▼
WG	▼				▼	
説明会		11月17日 ▼				
演習			12月1日 ▼			
内容		演習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・演習の評価 ・2008年度演習報告の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・2008年度演習報告のとりまとめ ・来年度演習の方向性提案